

**◎違法コピーに対する取り組みは一般ユーザーに解り易い形で示す事が抑止力に繋がる。**

プロバイダに対して重荷になりすぎる対応は求めにくいし、ユーザーに対してフランスのスリーストライク制のような仕組みは日本での実行にはまだ困難が伴う。プロバイダにもユーザーにも重荷にならない方法を考える必要がある。

- (例) 配信業者に協力を求めて、画面の1部に『この画像が著作権使用権をクリアしていないと思われる方はここをクリックして下さい』という内容のチェックコーナーを設ける。  
クリックすると次の画面に入り、色々入力出来るようになっていて、不正にアップした者に注意を促せる仕組みにする。(入力項目のメニューは十分吟味する必要がある。)  
法的拘束力に結びつかなくても、こういう項目があるだけでも自覚を促すためのある程度の効果は期待できるし、違法コピーの意識は高まると思われる。

※自動的に効力のある仕組みを作るといわずらチェックによる混乱が生じるので、どれだけクリックされても、その事により自動的にページが閉じられたりするようになってはいけない。

**◎日本独自のアイデアと開発力を世界に広め、信頼に繋がるアピールにつとめる。**

- (例) 地球温暖化に因る水位上昇で国土が海に飲み込まれつつある国ツバル。

沈みゆくツバルは国土消失の予測ゆえに、国内の若者を海外での仕事に就かせて、将来国民全員が移住できるように切ない準備をしている。

ここで日本の技術と開発力を活かさないか？

- 我が国には「土になるコンクリート」を開発した企業がある。

既に河川堤で一部使用されている。コンクリートだが土のように隙間だらけで強固に固まり、そこには植物が根付き、虫が生き、魚が住み、鳥が集まる。

工事後は半年ぐらいで自然の土の堤のような風景に近づき2年で全くの自然同然となる。

- ☆ツバルの国土を「土になるコンクリート」でかさ上げし、その上我が国の「海水から、水をつくる」技術を生かし、救う事はできないか？

日本の会社に発注して工事を行うのだから国内企業への経済効果も上がる。

そして我が国の技術が「とある国の人と歴史と、未来を守る」事に役立ち「我が国の技術力」を世界にアピールし、発注効果も期待できるし何よりも一

- ① 環境問題への大胆な取り組みとして世界に強い印象を与える。
- ② どこに金が使われたかも、はっきりする。
- ③ 日本の援助実態がうやむやにされることもない。
- ④ 日本とツバル2国間だけの合意で進められるプロジェクトなので、大国同士の利害がからまないシンプルさがある。